

<p>・日時:2019年4月15日—17日 ・場所:トッピオンRUTC</p>	<p>「崩れた教会と神殿回復(使2:16-17)」 2019年第22次世界産業人大会 祈りカード</p>	<p>世界福音化常任委員会インターネット総局 http://data.rutc.com</p>
<p>1講: 世界を生かす産業人— 残りの者(使徒2:9-11)</p>	<p>2講: 偶像現場を生かす産業人—残る者</p>	<p>3講: ローマを生かす産業人— 残す者</p>
<p>◆序論— 神様の絶対計画(歴史の流れの流れの中にある残りの者) ▶<b>みなさんが一番最初に知らなければならぬ序論の部分は、神様の計画は何かだ。これを見る事ができれば、答えはついて来る。</b> <b>最も重要な「歴史の流れの中にある残りの者」のことを言う。</b>私は、果たしてそこにいるのか、それだけを確認すれば良い。</p> <p>1)創3:11、ヨセフ 2)ヨケベデ、イテロ、ラハブ 3)ハンナ、エッサイ 4)オバデヤ、ツアレファテのやめめ、シュネムの女 5)ダニエル、三人の同僚、エステル 6)使1:14 7)使29-11</p> <p>▶<b>神様が本当に願っておられる絶対計画の中に私がいよいよ良い。神様がみなさんを呼ばれて、神様が願われる絶対的な計画の中に入れられたということだ。</b> ▶<b>本論— 残りの者の内容(ミッション、決断、力)</b> 1)ミッション→ 神様はどんなミッションを与えられるのか 1)使1:1、すべての問題の解決者であるキリスト 2)使1:3、ただ神の国のこと 3)使1:8、ただ聖霊、ただ力、ただ証人 2)決断(使1:14)→ ミッションを握ったら決断を下すべき 1)どんな問題も問題ではない→ 答えがあるためだ 2)所属はどこかに従って→ すべての未来が決定される 3)ひたすら祈りに専念した→ ひたすらとは、契約を握ってそのとおりに行ったこと 3)力→ このときから、神様は力をそそぎ始められる 1)三つの祭り(使2:1)→ 五旬節の日になって(上から与えられる力) 2)風のような炎のような動き(使2:2-3)→ 不可抗力的力 3)みことばの力(使2:14-40)→ ペテロに驚くべきみことばの力が与えられた 4)礼拝の力(使2:42)→ 使徒たちの教えを堅く守り 5)現場の力(使2:46-47)→ このみことばが現場まであかしされたが、現場の力を神様が与えられた</p> <p>◆結論→ 使2:43-45 1)光の経済→ いよいよ残りの者の経済である光の経済が与えられた ▶使2:43-45、使11:19-30、ロマ16:3-4、ロマ16:23、ピレ1:1-25 2)ただの7つ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>たご→ 138/契約+14/答え+24/成就+25/征服+永遠/美+ レムナント+237</p> </div> <p>(1)契約(使1:1、3、8) (2)答え(使1:14) (3)成就(24時、使11:19-30) (4)征服(25時、ロマ16:25) (5)永遠(ロマ16:25-27) (6)レムナント(イザヤ6:13) (7)237か国 ▶このただの中にだけいなさい→ All in! 3)237センター→ ▶237ビジネスマンの集い+レムナントインターンシップ+放送宣教/放送メディアセンター+重職者訓練センター→重職者が歴史的な記録を残す記念館+本格的な本部行政をすることができるように作りなさい。</p> <p>▶<b>みなさんが、ひとまず神様が願われる隊列の中に入らなければならぬ。神様の計画の中に、神様の方法の中に、神様の光の経済の中に入りなさい! 神様の絶対計画である残りの者の隊列の中に入りなさい! 神様の絶対方法であるミッションと、その契約の中に入りなさい! 神様の絶対経済である光の経済の中に入りなさい! そうすれば良いのだ。</b></p>	<p>◆序論— 残る者の目(神様の視線) ▶使徒18:1-4、完全に滅びるしかない偶像現場を生かした。それゆえ、必ず記憶しなければならぬ、「残る者として立てられたのだ。」 <b>みなさんと呼ばれた理由は、絶対に人が解決できないことをいやそうと、残りの者として送られた。そして、残る者として神様がみなさんと呼ばれたのだ。</b> ▶<b>これから残る者の目がある。残る者の目は、神様の視線がどこにあるのかを最もよく知っている人だ。神様の視線が留まるところに私たちの目がなければならぬ。</b> 1)サタンに手に産業がみな掌握されてしまった→ 偶像、霊的な病氣、霊的問題が次世代に伝えられる→ サタンの目標は滅亡させることだ。 2)崩れる教会→ 混ざった福音、異なる福音、間違った福音を伝える。 3)崩れる教会堂→ ヘブル10:25(集まらない)、使徒5:1-11(献金しない)、世界教会が倒産し始めた。止めなければならぬ。 ▶<b>本論— 0.1%→ 天、地のいっさいの権威、いやし、力(40日)</b> 神様はどのように成し遂げられたのか。この0.1%の福音を持った少数の産業人をもって働きを起こされた。 0.1%のこの人にマイタイ28:18-20を約束された。サタンに奪われた経済、サタンに奪われた教会、サタンの奴隷になってしまった信徒、これを生かせば、天と地のいっさいの権威を持って、あなたとともにいる。その程度ではない。御座の祝福で、行く所でのいやしの力を与えられる。病氣の者に手を置けばいやされる。そして、なんと言われたのか。力を受けて、地の果てまで証人となる。この祝福がある。神様が立てられた残りの者の隊列の中に入って、残る者の祝福の中に入りなさい。</p> <p>1)わざわい時代を止めなければならぬ ▶<b>神様がみなさんを証人として呼ばれ、残る者として立てられた。どんな迫害も勝てない。みなさんがどんなに弱くても大丈夫だ。残る者だ。わざわい時代を止めると呼ばれたのだ。</b> 1)強大国に起きるわざわい→ 精神疾患、銃器事故、麻薬 2)すべての国の現場がそうだ。福音ならば良いのに、福音を語ってあげない。 3)次世代に正確な福音を語らなければならぬ。 2)病氣時代(霊的病氣)を解決すべきだ ▶病氣時代が来る。止めることはできない。 1)いまでも多くの人々が答えをなくして、道に迷っている。 2)この霊的な病氣が全世界をひっくり返した。 3)ここに従って、肉体の病氣が来た。 ▶これから、このようないやしの働きで伝道運動が大きく起きるだろう。神様が動かれる未来をよく見るべきだ。ただ福音によって生かす。</p> <p>3)暗やみ文化時代を止めなければならぬ(科学X) 1)サタン文化 2)悪霊文化 3)暗やみ文化 ▶このとき、神様がみなさんを残る者として立てられ、世界福音化をされる。 ◆結論— 「宝が隠されている所」 ▶神様がとてもすばらしい宝を隠されている所がある。 1)リスト(3つを作りなさい) (1)福音対象者(コリ16章、コロ4章、ロマ16章)を記録しなさい (2)オリブ山のリスト→ ひとつの地教会、ひとつのRUTC、ひとつの教会を生かしなさい (3)サタンを縛るリスト→ 使13章、使16章、使19章 2)残る者の未来はすばらしい祝福が備えてある。 (1)灯台→ 暗やみの中に生きているから (2)見張り人→ 多くの信徒がさまよっているから (3)霊的司令官→ 戦わなければならぬから ▶それゆえ、なにも心配する必要がない。 3)All out ▶残りの者がすべきことはAll inだ。残る者がすべきことはAll outだ。All in、All outは同じ言葉だ。All inは私がその中に入ってしまうば、それが外に出て来る。何にAll out するのか。 (1)使1:1、3、8→ 契約(これをもって All out) (2)使徒1:14→ マルコの屋上の間に集まったこと、このような人に出会ったことが本当の答え (3)24時→ マルコの屋上の間に起きた成就 (4)25時→ 神様の力25、征服(ロマ16:20、サタンを足で踏み砕く) (5)永遠→ ここで出てくる実は永遠だ (6)レムナント→ この祝福をレムナントに。 (7)237か国→ この祝福を237か国に。 ▶私が残りの者の中に、私の産業が残る者の中に、揺れない。これをして死んでも大丈夫だ。この人たちに働きが起きた。みなさん、心配せずにこれを回復するように願う</p>	<p>◆序論— 残すことができない理由(答えのゆえに) ▶ほんとうにこく世界教会が崩れている。私たち以外には心配している教団がない。さあ、私たちは最後に「ローマを生かす産業人」だ。そして、みなさんにもう残す者として出発するのだ。 ▶それなら、残すことができない理由を分らなければならぬ。 1)アブラハム以後に奴隷になったこと→ 衣食住に重点(福音(運動)を残すことができなかった) 2)ヨセフ、モーセはカナンの地に入って失敗→ ただ征服(福音を伝達できなかった) 3)サムエル、ダビデ以後に偶像国家になった→ 建物(神殿)自慢 4)エリヤ、エリシャ以後に捕虜→ 霊的神秘(力)自慢 5)ダニエル、エステル以後に属国→ 解放に陶醉して、福音を残すことができなかった 6)初代教会以後に強権に捕らわれた→ 復興に陶醉して。 7)ルター、カルヴァン以後に教会は完全に商業化された→ ポジション、職業化 ▶それゆえ、神様は産業人のみなさんと呼ばれた。契約が握れば、神様がなさると言われた。契約を正しく握らなければならぬ。 ▶<b>本論— 福音はあったが福音運動が起きなかったゆえに、福音運動は三つで起きなければならぬ</b> 1)福音回復 1)創3:15 回復→ エデンの園事件のサタンは、いまでも存在している 2)出3:18 回復→ まだ解放されていないという事実(奴隷) 3)イザ7:14 回復→ まだ捕虜になっているという事実 4)マタ16:16 回復→ いまも属国になっているという事実 ▶いまでも同じということだ。みなさんが神様が最も願われることを成し遂げなければならぬ。福音を単純に伝達してはいけない。 なぜ福音かということだ。 2)レムナント運動回復(福音レムナント) 1)詩64:9→ 律法なのか、血の契約なのか 2)サム7:1-15(ペリシテ)→ ミツウ運動、すべての偶像を捨てて福音回復 3)Ⅱ列6:8-24(アラム)→ ドタンの町運動、アラムに勝つのが問題ではない 4)詩60:1-22、詩62:6-12→ 見張り人運動、バビロン、メディア、ペルシヤに勝つことが問題ではない 5)使17:1、使18:4、使19:8→ 会堂でみことば運動。パリサイ人、ローマに勝つことが問題ではない ▶レムナントに正しい福音運動を伝達すべきだ 3)教会回復 1)第1(ソロモン)、2(ゼルババベル)、3(ヘロデ) 神殿→ 教会回復 2)初代教会→ 教会回復 3)教会堂回復(福音、文化) ▶教会回復が先になされれば、教会堂回復もなされるだろう。 教会堂の建物を通して、福音が悟れるようになるべきだ。教会堂の中に偶像を作らずに、福音を悟れるものを作らなければならぬ。これが、今ない。今、福音を説明できる、福音文化と言えることが全くない。 ▶そこで、私たちがこういう部分を回復させなければならぬ、大きい使命を持っている。ああ、これが福音だな! このように見ることができるようになる。 ▶さあ、今回は三つの単語で要約できる。 ①みなさんは、残りの者だ。 ②みなさんは、これから残る者だ。わざわいと暗やみをみな止めなければならぬためだ。 ③みなさんは、残す者だ。それなら、なぜ残すことができなかったのかを知らなければならぬ、何を残さなければならぬかを知らなければならぬ。 ◆結論— ローマ16章(名前) ▶ローマ16章の契約を持って行くように願う。 ローマ16章に名前が記録されている。みなさんの名前が福音運動に残っていないければならぬ。みなさんの名前が必ず福音の足跡の中に入らなければならぬ。ああ、私の人生はいつか去っていくのに、福音運動に出て行くには残らなければならない。 1)裏面契約— 家主、助ける者、同労者。 2)3弟子— 秘密決死隊、レムナントミニストリー、ホーリーメイソン 3)3企業— 宣教企業、社会企業、文化企業 ▶みなさんが、今はこれらすべての契約を持って、神様のみことばについて行くのだ。そうすれば、みことばが正確に見えるようになる。この全体を合わせて神様の導きを受ける信仰生活と言う。やや下手をすると、私たちは信仰生活をしなくて、人仰生活をしようになる。人を見つめる生活をするようになる。私たちは、信仰で神様を見上げる生活をしなければならぬのに、結局、人を見つめる生活をするようになる。 ▶それゆえ、みなさんは神様の導きを受けて、必ず神様が願われるこのことが成される働きが成されるだろう。 すでにみなさんは成功した。すでに勝利した。もう自分のものにすればよい。そして、一生の間、この答えを味わう産業人になることを主イエスの御名で祝福する。</p>